

## ◆学習状況調査の結果の概要

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境、学校の取組状況などについての質問で構成されており、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっています。

本調査において、「している」「どちらかといえばしている」などプラス要因で回答した割合が、全国平均を5%以上上回っている項目及び下回っている項目を、以下に示しています。

### 【小学校】

#### 函館市が高い傾向を示した項目（全国平均を5%以上上回っている項目）

##### <児 童>

- (27) 家で学校の授業の予習をよくしている。
- (28) 家で学校の授業の復習をよくしている。
- (29) 家で苦手な教科の勉強をよくしている。
- (30) 家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後でよく勉強している。

##### <学 校> ※5%以上上回った項目が多数あるため、顕著な項目を抜粋

- (29) 児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をよく行っている。
- (41.42) 算数の指導として、コンピュータを活用した授業をよく行っている。
- (84) 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業をよく行っている。
- (75.76) 家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている。
- (98) 校長は、校内の授業をほぼ毎日見て回っている。

#### 函館市の課題と思われる項目（全国平均を5%以上下回っている項目）

##### <児 童>

- (13) 普段（月～金曜日）、1日あたり4時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている。
- (16) 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上勉強をしていない。
- (17) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたり2時間以上、勉強をしていない。
- (19) 家や図書館で読書をする時間が短い。

##### <学 校>

- (22) 「朝読書」などの一斉読書を毎日行うこと。
- (23) 学校図書館を活用した授業を週1回程度行うこと。
- (25) 長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施すること。
- (52) 算数の授業において、補充的な学習の指導を行うこと。
- (66) 保育所や幼稚園との連携を行うこと
- (67) 地域の人材を外部講師として招聘した授業を行うこと。
- (72) 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動によく参加すること。

## 【中学校】

### 函館市が高い傾向を示した項目（全国平均を5%以上上回っている項目）

#### <生徒>

- (2) 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。
- (44) 「総合的な学習の時間」の勉強が好きである。
- (52) 国語の勉強が好きである。

#### <学校> ※5%以上上回った項目が多数あるため、顕著な項目を抜粋

- (34) 生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導している。
- (50) 前年度の数学の指導として、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしている。
- (58) 国語の指導として、相手や目的に応じて話したり聞いたりする授業を行っている。
- (28) 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った指導を行っている。
- (73.77) 保護者に対して生徒の家庭学習を促す働きかけを行っている。
- (92) 校長は、校内の授業を毎日見て回っている。

### 函館市の課題と思われる項目（全国平均を5%以上下回っている項目）

#### <生徒>

- (12) 普段（月～金曜日）、1日あたり4時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている。
- (13) 普段（月～金曜日）、1日あたり3時間以上、テレビゲームをしている。
- (14) 普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上、インターネットをしている。
- (36) 今住んでいる地域の行事に参加すること。
- (40) 近所の人に会ったときは、あいさつをすること。

#### <学校>

- (24) 放課後を利用した補充的な学習サポートを行うこと。
- (25) 土曜日を利用した補充的な学習サポートを行うこと。
- (26) 長期休業日を利用した補充的な学習サポートを行うこと。
- (72) 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加すること。